

備前市施策評価シート

(平成17年度事業)

施策名 (小項目)	観光	コード	担当課	商工観光課
		04-03-01	電話	64-1832

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	おもてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目(基本施策)	個性あふれる観光のまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	観光施設の整備充実、観光案内サービスの向上、観光PR活動の推進により、観光客を誘致し、市の活性化を図る。	
② 市民ニーズ (反応、問合せ等)	自由時間の増大に伴い、観光・レクリエーション需要が増大、観光目的も深訪型から体験型に移行し、小グループ、ファミリー単位でリゾートライフを楽しもうとする傾向にある。備前焼や閑谷学校に対する問い合わせは多い。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の課題点を抽出)	主な観光資源は、備前焼・閑谷学校・日生諸島・五味の市・八塔寺などであり、各地に点在する観光資源は、それぞれ魅力があるものの、道路交通網やサービス施設が未成熟なため、滞在型観光ルートとしては未熟な状態です。このため、滞在型観光をめざすためには、アクセス道路やそれに伴う交通機関の整備充実とサービス施設の拠点整備、観光案内サービスの向上、観光PR活動の積極的な推進を図り、観光関連機関の協力、観光関連業者の理解並びに積極的な参加を求めする必要があります。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 文化基盤の形成と受け入れ体制の整備 観光地の整備 備前焼の振興 隣接地域との連携 新しい魅力「かき海道」 	

⑤ 施策成果指標の検討・設定(基本目標・基本施策・施策意図から検討する)

意図・推進内容のキーワード	考えられる施策成果指標名	順位
文化基盤の形成と受け入れ体制の整備	維持管理施設件数	2
観光地の整備	観光客数	1
備前焼の振興	備前焼伝統産業会館利用者数	4
新しい魅力「かき海道」	かき祭りの参加者数	3

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17		H23	H28		
1 観光客数	目標	人	730,000.0		750,000		岡山県観光動態調査による
	実績	人	754,000.0				
	達成率	%	103.3				
参考1 維持管理施設件数	目標	件	3.0				管理委託3件
	実績	件	3.0				
	達成率	%	100.0				
参考2 かき祭りの参加者数	目標	人	42,000.0		40,000		かき祭り
	実績	人	40,000.0				
	達成率	%	95.2				
参考3 備前焼伝統産業会館利用者数	目標	人	20,000.0		20,000		年間の開館日306日
	実績	人	19,812.0				
	達成率	%	99.1				

市民意識調査結果	施策名	調査年度				
		H18	H19	H20	H21	H22
国際観光文化都市の創造	重要だと思っている市民の割合	%	10.2			
	満足している市民の割合	%	15.5			

⑥ 施策構成事務事業の評価

担当課長評価

施策を構成する事務事業名 ()はその人件費(単位:千円)	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	直接事業費(単位:千円)		優先順位 (A~C)
			17年度事業費		
1 観光推進事業 (7,768)	C	観光動態調査事業	480		B
		観光宣伝事業	1,181		A
		観光パンフレット等作成事業	273		B
		観光写真掲出事業	154		C
		観光看板等整備事業	200		A
2 観光団体等支援事業 (5,335)	C	備前市観光協会補助事業	2,484		A
		日生町観光協会補助事業	4,310		A
		吉永町観光協会補助事業	360		B
		和意谷史跡保存会助成事業	122		C
八塔寺ふるさと村運営協議会助成事業	588		C		
3 国立公園等管理事業(備前) (650)	C	夕立受山管理事業	646		B
4 国立公園等管理事業(日生) (1,178)	B	日生諸島管理業務	1,276		A
5 国立公園等管理事業(吉永) (504)	C	中国自然歩道管理事業	155		C
6 観光施設維持管理事業(備前) (798)	C	閑谷学校駐車場等管理事業	2,000		A
		伊部駅南ふるさと交流センター管理事業	300		B
		大滝山上水道管理組合負担金事業	31		C

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)

H17

134,499

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
商工観光課	ホームページの充実	ホームページによる観光PRの推進
商工観光課	モデル観光ルートの設立	観光客の増加を図る
商工観光課	観光団体との連携強化	観光客の増加を図る
商工観光課	観光ボランティアの養成	観光協会と連携し、地域での受け入れ体制の充実

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	観光客はわずかながら減少傾向にある	3	H23年の目標観光客数の設定が低い
2 事業構成の適当性	3	合併に伴い観光団体の見直しを行い、新たな体制での事業展開が必要である	3	同左
3 施策の有効性	4	市にとって重要な事業であり、さらなる施策の展開が必要である(団体が開催された)	4	観光は、市の活性化を図る上で重要な施策である
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示		新市としてスタートしたが、各種団体等への補助金について見直しを行い、観光施策・PR等について検討が必要である		関西圏に絞って観光PRを行う必要がある
担当部長コメント		観光は、本市にとって極めて重要な事業である。また、日本有数の観光資源を有していることから、観光PR活動の積極的な推進を図る必要がある。		

